

平成 26 年度女川町住民主体のまちづくり活動支援事業（まち活） 概要

まち活は、町民が気軽にまちづくりに参加する場をつくり、まちづくりへの意識を高めることを目的として、講演会、実践講座、まちカフェ、まち歩き、先進地視察、ワークショップ等の企画を開催しました。

◆ 講演会

もっとまちが好きになる～シビックプライドを育てよう～

講師：伊藤香織氏（東京理科大学理工学部建築学科准教授）
日時：平成 26 年 5 月 18 日（日）
場所：女川町総合体育館 2 階剣道場

【概要】

「シビックプライド」とは、まちに対する住民の誇り・愛着のこと。自分のやりたいこと、好きなことをまちにつなげていくことでシビックプライドを育てよう。



右手に志、左手に算盤 ～超民間企業によるまちづくり～

講師：岡崎正信氏（オガールベース株式会社代表取締役）
日時：平成 26 年 11 月 11 日（火）
場所：女川町役場 2 階第 2 会議室

【概要】

地方において人口減少という現実を認識したうえでまちづくりをやっていくことが必要。特に民間はきちんと稼いで自立するかどうか、持続可能なまちづくりといえます。



まち活 ～夏の特別講座～ 女川町×復興庁×日本創成会議

特別ゲスト：小泉進次郎氏（復興大臣政務官）
増田寛也氏（日本創成会議座長）

日時：平成 26 年 8 月 24 日（日）
場所：女川町復興まちづくり情報交流館

【概要】

町民や中高生が当事者となり将来の女川について意見交換を行い、小泉政務官にも町民の熱い思いを感じていただきました。



若者の居場所づくりシンポジウム

基調講演：若新雄純氏（JK 課プロデューサー）
高校生発表：木村俊哉氏、鈴木元哉氏（女川向学館マイアムチーム）
日時：平成 27 年 3 月 26 日（木）
場所：女川町復興まちづくり情報交流館

【概要】

型にとらわれず、まちづくりの本質を捉え、若者が参加しやすく、大人も一緒に楽しめるやわらかい居場所づくりが必要。



◆ 実践講座

まちのアイデンティティを考える～対話による地域の特性を再認識～

講師：林田 暢明氏
（TAO 代表、NPO インフォメーションズ 理事 事務局長）
日時：7 月 12 日（土）
場所：女川町役場仮設庁舎 2 階会議室

【概要】

さまざまな立場の方たちが地域のアイデンティティやこれからまち活でやっていきたいことなどを話し合いました。



多自然川づくりの考え方と実践 –女川をよりよい川に–

講師：吉村伸一氏（株式会社吉村伸一流域計画室）
日時：平成 26 年 9 月 6 日（土） 13:00 ～ 17:00
場所：女川町役場仮設庁舎 2 階会議室

【概要】

多自然型川づくりに取り組むことで、どぶ川から生き物が生息する川に生まれ変わり、住民の利用増加や住民主体の環境活動につながった事例の紹介がありました。



シティプロモーションのための効果的な SNS 活用講座

講師：古山隆幸氏（一般社団法人イトナブ石巻 代表理事）
嶋脇佑氏（一般社団法人イトナブ石巻 理事）
日時：平成 27 年 1 月 23 日（金）
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

「SNS の活用」では、インパクトのある投稿をして目を留めてもらうことが大切。「情報の伝わり方」では、写真、言葉、デザインの 3 つの要素を工夫して「伝える」情報にすることが大切であることを学びました。



◆まちカフェ（まちの先生シリーズ）

まちカフェ（ゆめハウス）

話題提供者：コミュニティスペースうみねこ 八木代表
日時：平成 26 年 6 月 18 日(水)
場所：ゆめハウス

【概要】

「ランチ&トークセッション」として、昼食をとりながら各自の活動について意見交換を行い、団体への支援、団体間の横の連携・情報共有の必要性などについて、話し合いました。



フューチャーセンターについて学ぼう！

話題提供者：NPO 法人アスヘノキボウ 小松洋介代表理事
日時：平成 26 年 8 月 19 日(火)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

新しい女川町の駅前にできる「フューチャーセンター」において、住民としてどんなサービスがあったら利用したいか、参加者と意見交換をしました。



アートをテーマとしたまちづくり

話題提供者：梶原千恵氏（中学校美術教諭）
日時：平成 26 年 10 月 2 日(木)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

1 年前に女川町でカナダのアーティストと一緒に取り組んだ「Artist in Residence」で制作された、映像作品を紹介していただき、アートを活用したアイデアについて意見交換しました。



木村優佑氏に学ぶ「女川ビール学」

話題提供者：木村優佑氏（ガル屋 Beer 店長）
日時：平成 26 年 10 月 23 日(木)
場所：ガル屋（きぼうのかね商店街）

【概要】

U ターンの話からビールの魅力まで幅広くお話いただきました。参加者から新たなまちなかでのビールの楽しみ方やビールづくりのアイデアが出されました。



親子まちカフェ&桜の鉢植え体験

話題提供者：藤中郁生氏（桜守りの会事務局長）
日時：平成 26 年 11 月 13 日(木)
場所：藤中塾堂（きぼうのかね商店街）

【概要】

桜の苗木の植え替えを体験しながら、まちびらき後の桜並木計画について学び、女川の新たな桜の名所づくりについて意見交換を行いました。



知ってる？おながわ海の中

話題提供者：高橋正祥氏（宮城ダイビングサービスハイブリッジ代表/石巻海さくら代表）

日時：平成 26 年 10 月 30 日(木)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

世界三大漁場に数えられる金華山沖の海の豊かさについて、女川の海の中の生き物を解説し、ダイバーや漁師が協力して海の中のガレキを撤去している取り組みについて紹介していただきました。



阿部鳴美さんとスペインタイル絵付け体験

話題提供者：阿部鳴美氏（みなとまちセラミカ工房）
日時：平成 26 年 11 月 20 日(木)
場所：女川町役場 2 階会議室

【概要】

スペインタイルの絵付け体験をしながら、参加者より「将来の女川のまちづくりとスペインタイルの活用」というテーマでアイデア出しをしました。



スプレーペイントと地域づくり

話題提供者：崎村周平氏（スプレーアーティスト）
日時：平成 26 年 12 月 11 日(木)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

震災後に実施した、大漁旗コンテナプロジェクトやライブペイントなどについて紹介していただき、「若者向けの文化として中学生や高校生と一緒に魅力的な町をつくっていききたい」との想いが語られました。



読み聞かせボランティア おはなし会「おひさま」が伝えます！だいすきな絵本の魅力

話題提供者：島貫洋子氏他 4 名（おはなし会おひさま）
日時：平成 26 年 12 月 17 日(水)
場所：ダイシン&かふえ さくら（きぼうのかね商店街）

【概要】

設立から 15 年もの間、活動を継続できた秘けつなどを参加者と意見交換しながら、活動への参加も呼びかけました。



スペインタイル絵付け体験&活用アイデア交流会

話題提供者：阿部鳴美氏（みなとまちセラミカ工房）
日時：平成 27 年 1 月 15 日(木)
場所：女川勤労青少年センター 和室

【概要】

子育て応援サークルマザーズリングとコラボし、スペインタイルの絵付け体験後、主婦の方々の目線から新しいまちでの活用アイデアについて意見交換しました。



◆まちカフェ（コラボ企画シリーズ）

まち活 x 中央大学 コラボ企画

テーマ：コミュニティと防災について考えよう！
参加者：中央大学法学部江藤ゼミ
日時：平成 26 年 8 月 5 日(火)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

「震災によるコミュニティの変化、防災活動の状況」や「今後の防災活動のアイデア・提案」などについて話し合いました。



まちカフェ x 東京国際大学 コラボ企画

テーマ：コミュニティと地域活性化
参加者：東京国際大学
日時：平成 26 年 9 月 18 日(木)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

女川町での被災経験から、“人生にとって何が大事か”“これからのまちづくりには「自分のまち」という意識をもって取り組むことが重要”など、深い意見交換を行いました。



まちカフェ x 記憶の街ワークショップ in 女川 コラボ企画

テーマ：女川町の“むかし”と“みらい”
日時：平成 26 年 11 月 27 日(木)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

女川町中心部の復元模型を囲みながら、“むかし”のことを記録していく中で感じたことや、“みらい”に残したいことなどについて、大学生を交えて意見交換を行いました。



まち活 x 中央大学「チーム女川」 コラボ企画

テーマ：中央大学ボランティアセンター「チーム女川」活動発表会
参加者：中央大学ボランティアセンターチーム女川
日時：平成 26 年 12 月 6 日(土)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

学生からは今後の女川町 PR 活動にあたって外から求められているニーズが発表され、それに対して参加者は町の情報を提供するなど、活発な意見交換が行われました。



まち活 x 関西学生団体 Action For Ishinomaki 復興部

テーマ：視察の感想やまた女川に来たらしめてみたいこと
参加者：関西学生団体 Action For Ishinomaki 復興部
日時：平成 27 年 2 月 17 日(木)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

ワールドカフェを開催し、また女川に来たらしめてみたいこと、そのために女川町に期待すること、自分が町民だったらこんなことができるなどの意見交換を行いました。



◆まちカフェ（出張まちカフェ・その他企画）

出張まちカフェ（マザーズリング）

協力：子育て応援サークル『マザーズリング』
日時：平成26年6月13日(金)
場所：勤労青少年センター

【概要】

「出張まちカフェ」として、子育て応援サークルに参加するお母さんたちとの意見交換を実施し、まちづくりで気になることや、日常生活の課題を出し合いました。



子どものまちづくりイベントを企画しよう!!①

協力：NPO 法人カタリバ
日時：平成26年8月25日(月)
場所：女川向学館（旧女川一小）

【概要】

女川向学館のスタッフさんから、低学年、高学年の子どもたちの特性をレクチャーしていただき、子どもたちが考えやすいテーマや参加しやすい方法などを話し合いました。



出張まちカフェ in 子育て支援センター

協力：子育て応援サークル『マザーズリング』
日時：平成26年9月5日(金)
場所：女川町子育て支援センター

【概要】

子どものまちづくりイベントへの参加しやすい方法や町の公園づくりに関する意見交換、現場見学会で子どもたちが喜ぶアイデアなどについて話し合いました。



まちカフェの仕掛けづくり

日時：平成26年9月11日(木)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

今後のまちカフェや住民参加について、「もっと多くの方に来てもらう仕掛け」や「女川に芦屋（兵庫県）のような住宅地をつくるにはどうしたらよいか」など、語り合いました。



子どものまちづくりイベントを企画しよう!!②

協力：NPO 法人カタリバ
日時：平成26年9月29日(月)
場所：女川向学館（旧女川一小）

【概要】

第1回企画会議（8月25日）を踏まえ、第2回企画会議を開催。大人や中学生から、昔どんな遊びをしたかを紹介しながら、「将来の遊び場について考えよう」という企画の集約をしました。

まちカフェ（テーマ検討）

日時：平成26年10月8日(水)・16日(木)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

これまでのまち活実践講座等で議論されたキーワードを一覧にして掲載し、それをもとにした意見交換を行いました。



◆まち歩き

女川にはどんな生き物がいるの？～親子で川に入ってガサガサ探検

参加者：一般参加者（親子5組13名）
日時：平成26年9月6日(土)午前
場所：奥清水溪流の森付近

【概要】

親子で川に入って生き物調べをしました。たも網を使い、川魚（ウキゴリなど）や水生生物（ヘビトンボなど）、サワガニなど、きれいな川にしかない生き物を見つけました。



おながわ散歩「女川の魅力を再発見!!」

ナビゲーター：鈴木麻弓氏（写真家）
日時：平成26年11月5日(水)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

①復興まちづくり情報交流館⇒②女川中学校⇒③運動公園⇒④清水地区⇒⑤復興まちづくり情報交流館をルートにまち歩きを実施し、新しく生まれ変わる町への期待を膨らませました。



◆ワークショップ

プレ子どもワークショップ（第1回）

テーマ：女川の自然（花・木・魚）をつくろう

参加者：女川小学校下学年（約 20 名）

日時：平成 26 年 6 月 23 日(月)

場所：女川小学校みんなのへや

【概要】

布切れや折り紙、割り箸などの素材を活用して、花や木など、子どもたちの自由な発想で工作をしました。たくさんの素材を折ったり、切ったり、巻いたりしながら、女川の自然を表現しました。



プレ子どもワークショップ（第2回）

テーマ：住みたい家・あったらよいお店・遊びたい公園

参加者：女川小学校下学年（約 15 名）

日時：平成 26 年 6 月 25 日(水)

場所：女川小学校みんなのへや

【概要】

3つのテーマ別にカードを作成し、絵もしくは文字で自由に表現しました。座敷では、折り紙を使ってお花や動物などをつくり、一人ひとりの個性あふれる女川のまちの将来をつくっていきました。



子どもワークショップ（第1回）

テーマ：低学年が考える「将来の女川町」

参加者：女川小学校下学年（約 25 名）

日時：平成 26 年 7 月 14 日(月)

場所：女川小学校みんなのへや

【概要】

新しい家や海、自然などを表現しました。子どもたちの自由な感性からキラリと光る作品が多数生まれました。



子どもワークショップ（第2回）

テーマ：高学年が考える「将来の女川町」

参加者：女川小学校高学年（約 20 名）

日時：平成 26 年 7 月 16 日(水)

場所：女川小学校みんなのへや

【概要】

テーマを考えてもらい、それに沿った作品を作製しました。大人には思いつかない豊かな発想力に終始驚かされっぱなしでした。



「まちのアイデンティティを考える」ワールド・カフェ

日時：平成 26 年 7 月 12 日(土)

場所：女川町役場仮設庁舎 2 階会議室

【概要】

カフェのような自由な雰囲気の中、さまざまな立場の方々が女川への想いを自由に語り合いました。また、参加者がプロジェクトに関する提案をし、仲間を募って主体的な話し合いを行う方式を実施しました。



女川の豊かな自然について学ぼう！ 女川いいところ発見

日時：平成 26 年 9 月 6 日(土)午後

場所：女川町役場仮設庁舎 2 階会議室

【概要】

二級河川女川について「子どものころに遊んだ所」「魅力」「どんな川にしたいか」をテーマに情報交換を行いました。参加者から、自然環境、防災、利用の観点から多くの意見が出されました。



女川町のプロモーション実践ワークショップ①

テーマ：まちの先生、まちの活動紹介マップづくり

日時：平成 27 年 1 月 14 日(水)

場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

渡波でコミュニティ活動支援をしているジョナサン・ストレイカーさんを先生として招き、町にあるものを個人や団体、環境や外部のものなどに分類して整理する「資産図」を作成しました。



女川町のプロモーション実践ワークショップ②

テーマ：復興祭で女川町の魅力を発信する情報発信基地を考えよう！

日時：平成 27 年 1 月 21 日(水)

場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

第1回ワークショップで作成した「資産図」を振り返り、復興祭でどのように女川町の魅力を発信すればよいかを話し合いました。



まちカフェ×女川向学館高校生ワークショップ

テーマ：若者の居場所づくり
日時：平成 27 年 2 月 6 日(木)
場所：女川向学館（旧女川一小）

【概要】

子どもの困りごとや「女川町の復興まちづくり」について共有し、課題、町の方向性を踏まえ、自分たちがやりたいこと・アイデアを一人ひとりが発表しました。



女川町のプロモーション実践ワークショップ③

テーマ：まち活ブースで集客アップを考えよう！
日時：平成 27 年 3 月 13 日(金)
場所：復興まちづくり情報交流館

【概要】

復興祭のブースで行う企画を共有し、復興祭で町の魅力をどのように PR すればよいか、意見交換を行いました。



まちびらき直前合同合宿～新生・女川ノ課題ヲ解決セヨ～featuring マイプロジェクト × KAERU CAMP

協力：女川向学館、かぎかつプロジェクト
日時：平成 27 年 3 月 7 日(土)、8 日(日)
場所：女川向学館（旧女川一小）

【概要】

町内外の高校生が立ち上がり、合宿しながら新たな町の課題解決に取り組みました。

町内外の高校生がこれまでに検討した結果を発表し、共通する3つのテーマ「若者の居場所づくり」「駅前のにぎわい」「海産物の売り上げUP」に分かれて、それぞれの提案を融合しました。

いつ、どこで、どのようにやるのか、資金調達も含めた実施計画を立てました。7日は夜遅くまで話し合い、8日早朝に提案をまとめました。



◆先進地視察

まち活先進地視察

（徳島県神山町・南芦屋浜災害復興公営住宅）

テーマ：外部人材・アートを活かしたまちづくりの取り組み
日時：平成 27 年 2 月 14 日(土)～15 日(日)
場所：徳島県神山町・兵庫県芦屋市

【概要】

公営住宅の計画時にコミュニティ・アートに取り組んだ南芦屋浜災害復興公営住宅と、人口減少下でアーティストや起業家が集い、新たなライフスタイルを提供している神山町を視察しました。



まちカフェ

「まち活先進地視察の振り返りとこれからの女川町」

テーマ：フューチャーセンターで「これからの女川」の話をしよう！
日時：平成 27 年 3 月 29 日(日)
場所：女川フューチャーセンター

【概要】

視察に参加した方、していない方も交え、視察の成果を踏まえて、これからの女川でどんなことができるかをみんなで考えました。



◆その他企画

まち活×絆 Friends コラボ企画 秋刀魚収穫祭ブース

テーマ：みんなの遊び場づくり
日時：平成 26 年 9 月 21 日(日)
場所：おながわ秋刀魚収穫祭会場内ブース

【概要】

子どもたちに好きな遊びや遊びたい場所を考えてもらう「まちカフェ」ブースを出店し、100名以上の子どもたちが訪れました。



まち活×女川向学館コラボ企画 復興祭ブース

テーマ：女川町情報発信基地
日時：平成 27 年 03 月 22 日(日)
場所：復興祭 海ステージ会場 7番ブース

【概要】

復興祭のブースで「女川」ひと辞典」「出店者メッセージボード」「出店者のうわさプロジェクト」「シンサイミライノハプロジェクト」「高校生 合宿の発表パネル」の企画を実現しました。

